

部局名	財務部	所属名	財政課	所属長名	坂巻 祐一	電 話	483-1151 内線3310
-----	-----	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4114		事務事業名称	財務会計システム運用管理事業						短縮コード	経常	4114	臨時	4115
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	04	財政管理費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市財務規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
予算編成・決算集計業務，予算執行・出納業務等，市全体の財務会計の根幹を支えるシステムの運営管理を行うものである。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	06	計画推進のために						
平成19年度に財務会計システムのバージョンアップ作業を行った。今後は，新公会計制度の4表作成に対応したシステムや資産管理システム等との連携により，市の財務会計業務の効率化を図っていく必要がある。						大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
						中 項 目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立						
						小項目（施策）	01	効率的な行政運営の確立						
						細 項 目	04	電子自治体の推進						
				実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	財務会計システム システムを使用する職員							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 財務会計システムのリース及び保守管理業務委託 平成19年度のバージョンアップに伴う，現行システムの安定稼働に留意した。							
	※平成22年度に計画していること： 財務会計システムのリース及び保守管理業務委託							
意図 （何を狙っているのか）	適正な保守業務を行うことで，システム障害を解消し，正確かつ迅速な財務事務の処理環境を確保する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	専用入力端末数	台	70	70	70	70	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	システム修繕件数	件	0	1	0	1	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	システムの正常稼働率（稼働日数／業務日数）	%	100	100	100	100	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		4114	事務事業名称	財務会計システム運用管理事業			所属名	財政課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	9, 605	9, 943	9, 459	9, 392	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			財務会計システム機器保守委託料 313千円	修繕料 412千円	財務会計システム機器保守委託料 510千円	修繕料 226千円	
				財務会計システム機器賃借料 8, 950千円	委託料 522千円 使用料及び賃借料8, 950千円	財務会計システム機器賃借料 8, 950千円	委託料 510千円 使用料及び賃借料8, 656千円	
人件費 (B)			千円	384. 5	376. 1	380. 3	376. 1	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	9, 989. 5	10, 319. 1	9, 839. 3	9, 768. 1	

3. 事務事業の評価（S E E）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	正確かつ迅速な財務会計事務の処理環境を確保することにより，効率的な行政運営を確立することができる。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	システムの安定稼働は常に求められることから，目標が達成されることはない。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	保守については委託しているが，内部管理事務であるため，市の関与は妥当である。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	市全体の財務会計システムを運営するための対象・意図として適切である。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	平成19年度にバージョンアップを行ったこと，またその際に必要最低限の専用端末を導入していることから，近年中に他のシステムとの連携及び専用端末台数の削減等を予定していないため，現時点では可能性がない。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性がある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）		
				2		実施主体 （所管部署）			
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	4114	事務事業名称	財務会計システム運用管理事業				所属名	財政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			平成19年度に財務会計システムのバージョンアップを行ったが、今後必要とされる新公会計制度への対応等に考慮しつつ、当面の間は現行システムの安定稼働を第一の目的とし、現状のまま継続とする。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現行システムの安定稼働を維持し、大きなシステムエラーを発生させず、効率的な予算編成・執行等を行う。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特になし。									

所属長コメント	最適な状況を保持していきたい。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									